

ロービーム一体LED点消灯方式ADBヘッドランプ 「第9回ものづくり日本大賞 優秀賞」を受賞

株式会社 小糸製作所（本社：東京都港区、社長：加藤 充明）の技術者7名が、「第9回ものづくり日本大賞」において「優秀賞」〔製品・技術開発部門〕を受賞しました。ものづくり日本大賞は、全産業を対象に、「日本の産業／文化の発展」、「豊かな国民生活の形成」に貢献した技術／開発者を表彰する制度で、当社としては第7回ものづくり日本大賞（受賞件名：LED Compact-バイファンクションの開発）に続き、2回目の受賞となります。

当社は、ハイビームの照射範囲を自動制御し、前方車両に眩しさを与えることなく、夜間走行の視界を良好にする ADB (Adaptive Driving Beam：配光可変ヘッドランプ) を開発、安全に貢献する技術として採用拡大に取り組んでおります。

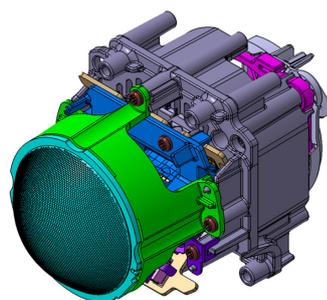
従来の ADB 搭載ヘッドランプは、ロービームと ADB をそれぞれ異なる特性の光学ユニットで構成していましたが、本開発品では、これまでの光学系を刷新するとともに、ユニット構成部品のコンパクト化を図ることでロービームと ADB の光学ユニットを統合・一体化し、ランプの大幅な小型・軽量化と低コスト化を実現しました。

これにより、高級車から軽自動車／小型車を含む幅広い車種への ADB 搭載を促進させ、夜間走行の更なる安全に寄与すると評価され、今回の受賞となりました。

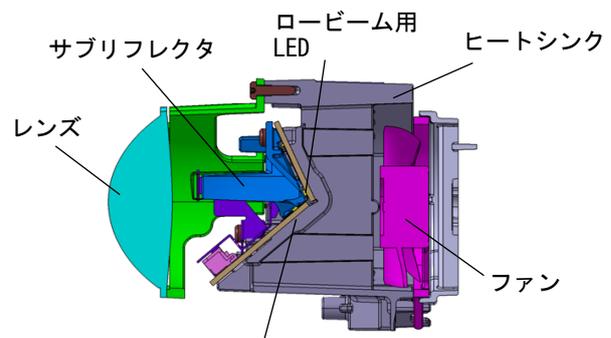
当社はこれからも、最先端の技術を追求し、お客様第一の製品開発に努め、クルマ社会の安全性・快適性の向上に取り組んで参ります。

【受賞内容】

1. 受賞件名 幅広い車種へ搭載可能なロービーム一体LED点消灯方式配光可変ヘッドランプの開発（ロービーム一体点消灯方式ADBヘッドランプ）
2. 受賞者 山本 照亮、堀 宇司、平田 正順、金森 昭貴、御園生 慎也、河合 宏樹、末次 麻希子 計7名
3. 開発の内容 1つの光学ユニットでロービームとADB2つの機能を実現し、従来のADB搭載ヘッドランプと比較して大幅な小型化・軽量化と低コスト化を実現。優れた搭載性により、軽自動車／小型車までADB採用が拡大している。



今回受賞したユニット



ADB用LED

ユニット断面